

つながりサポート居場所づくり事業【旭川市】

個別事業費	1,858 千円
交付金額	1,202 千円

地域の実情と課題

- ・景気の影響を受けやすい女性の就労状況
非正規従業員の割合は、男性については60歳以上が6割を占めているが、女性の場合は59歳以下が7割を超えているため、女性の方がより景気による影響を受けやすく、失職後に深刻な状況に陥りやすい。
- ・地域社会から孤立しやすい女性の増加
進学・就職を機に転入する若年女性が多く、地縁がなく、コロナ等による休校やオンライン授業、失業等を機に孤立しやすい。

事業の特徴

- ・若年層の興味・関心が高いネイルやメイクなどのワークショップと相談支援を組み合わせた居場所づくりイベントを全4回開催。
- ・運営スタッフやワークショップ出展者が、参加者からの何気ない会話を掘り下げ、不安や悩みを聞き取り、支援制度や相談窓口などの情報提供を行った。
- ・法律に関する相談にも対応できるよう、弁護士などの専門の相談支援員も毎回配置した。

事業の効果

- ・既存の相談窓口とは全く異なる形態による困りごとの掘り起こしにより、既存の支援には自らつながってこない若年層に対しても、相談の機会を提供することができた。
- ・ネイルやメイクといった、若年女性が広く関心を持つワークショップの開催を事業の中心に据えたことで、深刻度や内容ともに多様な困りごとにアプローチすることができ、早期の支援にもつなげることができ、目標相談者数を超える実績となった。
- ・これらにより相談者数(延べ)は50人と目標値を上回った。

目的・目標

従来の取組から一歩踏み込んだ新たなアプローチ方法による相談支援を行い、幅広い世代の女性に対し、不安解消や問題解決に向けた支援に繋げる取組を行う。

【事業目標】 相談者数(延べ) 目標値 10人 (実績値 50人)
 【事業KPI】 窓口周知用の生理用品配布数
 目標値 4,200個 (実績値 4,128個)

連携団体

高等学校・大学・専門学校
 イオンモール北海道
 ハローワーク旭川・若者サポートステーション 他

今後の課題

来場者に既存の居場所の紹介も行ったが、自分一人では既存の居場所に入っていくことに心理的ハードルを感じる傾向を確認したため、既存の居場所を紹介するだけでなく、居場所の利用開始に向けた仕掛けづくりをしていく必要がある。

事業の概要

つながりサポート居場所づくり事業 女性の居場所づくりイベント「つながるスペース」



交通の利便性の良い中心市街地で、
女性の居場所づくりイベントを開催！（全4回）

- 参加者数
延べ 340人
- 相談者数
延べ 50人

既存の相談支援とは全く異なるアプローチ

- ・若年層が興味関心を持ち、就業にも活かせるワークショップと相談支援を組み合わせた居場所づくりイベント
- ・ワークショップでの会話からの困りごとの掘り起こし

話しやすい雰囲気づくりと 専門の相談員の配置

- ・出入り自由なオープンな会場
- ・参加者とのコミュニケーションを重視
- ・弁護士やスクールカウンセラーも配置
- ・居場所づくりをしている団体にもブースを出展してもらい、雰囲気を紹介

